

社会福祉法人 敬愛会 シクラメン通信

令和5年度スタート

地域に愛され 地域と共に

理事長 花田 美晴

敬愛の心

令和5年度が始まりました。この頃は感染者数の減少が見られてはいるものの、昨年度は新型コロナウイルスに翻弄され、日々の感染対策などによって地域の皆様とのつながりも低調になりがちでした。敬愛会としてやるべきことは、コロナ禍でもできることを模索し、地域の中の施設として様々な福祉サービスを提供し続けることができるよう、努力することだと思っています。今後利用者様やご家族の方々から、「シクラメンを利用して良かった。」また、職員が、「シクラメンで働くことができている良かった。」と実感できるような法人運営を目指し、皆様に喜んでいただけるよう尚一層、努力を続けていくことをお約束して、年度初めの挨拶とさせていただきます。

恵那市社会福祉法人等連絡会に参加しました

シクラメンは阿木の他にも恵那市でも事業所を運営しています。恵那市では～顔の見える関係づくりと公益的な取り組みに向けて～という目的で、恵那市に法人所在地、または事業所のある社会福祉法人により「恵那市社会福祉法人等連絡会」が令和12月に設立されました。全10法人からなるこの連絡会に、当法人は大井シクラメンとして参加しています。



連絡会の活動第1弾としてとして岐阜県社会福祉協議会のフードバンクキャンペーンに賛同し各参加法人が窓口となりました。

大井シクラメンにもフードバンクBOXを設置し、家庭等で余っている食べ物を回収し、1月下旬に恵那市福祉センターまでお届けに伺いました。集まった食品は恵那市内の生活にお困りの方にお配りしたり、岐阜県社会福祉協議会のフードバンクに送るそうです。



4月1日より緩和されました

送迎車が新しくなりました

特養・グループホーム 只今の面会規制状況

4月1日現在
面会規制：レベル2（近親者限定）
面会条件：要予約 2名以内
■ユニット毎の指定場所で10分程度
■LINEビデオ通話によるリモート面会
※状況に応じてレベルを変更している場合がありますので、予約時に確認をお願いします。

2月23日に新しい送迎車として「ノア」が納車されました。こちらの車輛は「競輪とオートレースの補助事業」として公益財団法人JKA様より補助をいただきました。オートレースのステッカー付でもとても映えますね。車椅子のままでも乗車できる福祉車輛で、デイサービスの送迎車として活躍しています。



(発行者) 岐阜県中津川市阿木2811の1 社会福祉法人 敬愛会
◇清流の国ぎふ健康経営宣言企業登録事業所
◇岐阜県新はつらつ職場づくり宣言登録事業所
◇岐阜県介護人材育成事業者認定事業所...グレード2



ひなまつい

特養ではユニット毎に個性豊かなお雛様・お内裏様が！

感染対策など制限がある中で利用者様に楽しんでいただくには、どうしたら良いか、皆様に参加してもらえ難い、過ぎない内容はどんなことか、など、毎月職員が知恵を絞る行事日を利用者様も楽しみにしてくださっています。皆様笑顔が素敵ですよ。

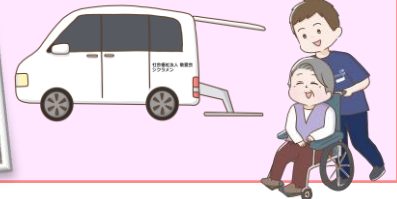


特養・グループホームは4月のはじめにお花見に出かけました。今年の桜は例年より少し早く咲いた気がしますが、ちょうど満開の晴れた

日に出かけることができました。特養はユニット毎で3便に分かれて中之島公園の桜を、グループホームは恵那峡の桜を見に行きました。久しぶりの外出行事でしたが、「きれいやったね」「見事や」と皆様に喜んでいただけてとても



充実した時間になりました。



余暇活動で利用者様とベランダをお散歩するヒエンさん



N3レベルまでの取得が求められています。合格後は続いてN2、さらにはN1に挑戦する姿はとても頼もしく感じます。

1期生として令和2年3月から勤務しているチャンさんが今年の2月より特定技能生へと在留資格を変更し、勤務を続けることになりました。3年前は静かで大人しい印象があったチャンさんですが今では冗談も言うほど日本語が上手になりました。2期生3名、3期生2名も7月にある日本語能力試験に向けて勉強をしています。



お雛様になったランさんと一緒にパシャリ📷

外国人材あれこれ話

インドネシアの特定技能生は働き始めて早くも半年経ちました。早番・遅番も習得し、3月から夜勤業務を覚え始めました。夜勤になると職員数が少なくなるので、不安に思う部分もあるかと思いますが、分からない事は日本人職員に積極的に質問し、自信を持って夜勤立ち回りできるように取り組んでいます。職員だけではなく、利用者様も先生のようで、この地域の方言も段々と上手になってきました。



行事日に執事姿のスヘルマンさんと「はい、チーズ📷」

おねがい

日頃より当施設にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

ここ数年様々な制限がされたコロナウイルスへの対応が、全国的に3月中旬より緩和されマスクの着用などが個人の判断に委ねられるようになりました。しかし、様々な規制が緩和されても、高齢者の方が感染するとリスクが高いという事実は変わりません。

利用者様・ご家族様に安心して当施設をご利用していただく為に、当施設へ来所される際は不織布マスクの着用・手指の消毒にご協力をお願いします。

感染対策を行いなから、少しずつではありますが以前の生活に戻れるよう、当施設としても様々な対応を試みていこうと思えます。まずは4月から緩和した各ユニットでの直接対面の面会で様子を見ながらにはなりますが、今後も皆様のご理解をいただければ幸いです。

来所の際には不織布マスク着用にご協力ください

不織布マスク着用にご協力ください